

ブラジル大統領選挙の決選投票でボルソナロ氏勝利

- 大統領選挙の決選投票でボルソナロ氏が初当選。ボルソナロ氏(55.13%)はハダジ氏(44.87%)を大差で下す。
- 有権者は第三極のボルソナロ氏にブラジルの変革を託す。ボルソナロ氏の大統領就任は2019年1月1日(任期4年)。
- 主要閣僚人事では、官房長官(ロレンゾーニ氏)、経済相(ゲデス氏)、国防相(エレノ氏)の3ポストがすでに内定済み。
- ボルソナロ政権の最大の課題は議会運営。市場が期待する年金改革を実現できるか政権の政策実行力が問われる。

大統領選挙の決選投票でボルソナロ氏が勝利

10月28日に実施されたブラジル大統領選挙の決選投票では、極右のボルソナロ氏(PSL)が左派のハダジ氏(PT)を下して初当選を決めました。開票率99.99%時点で、ボルソナロ氏の得票率は55.13%と、ハダジ氏の得票率44.87%に対して10%強の大差を付けました(図1)。

元陸軍大尉で1991年から下院議員を務めたボルソナロ氏は、大政党には所属せず政治の主流からは距離を置いてきました。今回の選挙結果は、政界に蔓延した汚職問題と左派政権への回帰を嫌った有権者が、第三極のボルソナロ氏にブラジルの変革を託したものと考えられます。

注目されるボルソナロ陣営の主要閣僚人事

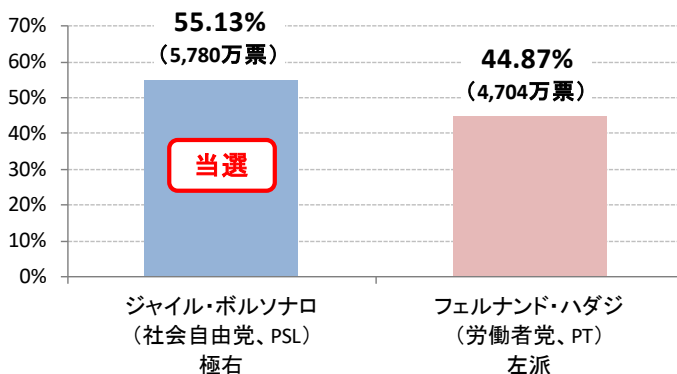
ボルソナロ氏の大統領就任は2019年1月1日に予定されており、任期は4年となります。

ボルソナロ政権の主要閣僚人事では、官房長官にオニキス・ロレンゾーニ氏(下院議員)、財務省と予算企画省を統合した経済相にパウロ・ゲデス氏(ヘッジファンド創業者)、国防相にアウグスト・エレノ氏(陸軍退役大将)がすでに内定しています(図2)。中道政党であるDEM所属のロレンゾーニ氏には議会での調整役、ゲデス氏には財政・経済改革の推進役としての役割が期待されます。

経済改革推進のための議会運営が大きな課題

2019年初に発足するボルソナロ政権にとって最大の課題は議会運営にあると言えます。ボルソナロ陣営の政策提言には、財政健全化や税制改革、国営企業民営化、年金改革など市場が期待する多くの経済改革が含まれています。一方、今回の選挙で当選した下院議員の間でも、財政健全化に不可欠な年金改革に大枠で賛成する議員が大勢を占めており(図3)、改革承認に必要な票を確保するボルソナロ政権の政策実行力が問われそうです。

図1:ブラジル大統領選挙の決選投票結果



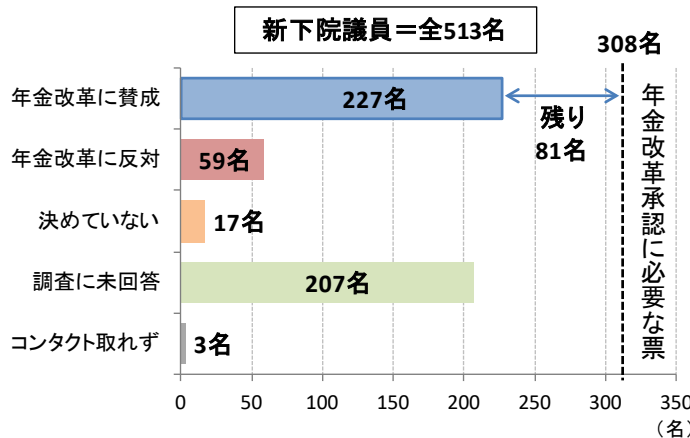
(出所)ブラジル選挙高等裁判所(TSE)
(注)開票率99.99%時点。有効票に基づく得票率。

図2:ボルソナロ政権の主要幹部人事

役職	人事	経歴
大統領	ジャイル・ボルソナロ	下院議員、元陸軍大尉
副大統領	ハミルトン・モウラン	陸軍退役大将
官房長官	オニキス・ロレンゾーニ(内定)	下院議員(DEM所属)
経済相(財務・企画相)	パウロ・ゲデス(内定)	ヘッジファンド創業者
国防相	アウグスト・エレノ(内定)	陸軍退役大将

(出所)各種報道

図3:新下院議員への年金改革に関する方針調査



(出所)エスタード・デ・サンパウロ紙(2018年10月25日付)

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。